

### きょうはじめてるすばんします!

いしだ 未紗：絵 / 佐伯 幸子：監修 / 少年写真新聞社

初めて一人で留守番をする不安や緊張をこどもの視点で描いた物語。家の中でどう過ごすか、どんなことに気を付ければ安心できるかを優しい言葉とイラストで分かりやすく伝えていきます。こどもの自立への一歩を優しく応援する一冊です。



市民図書館所蔵

## おすすめの**本**

### 老いてこそAI

岡嶋 裕史：監修 / 主婦と生活社

「AIはむずかしそう」と感じる人は多いと思いますが、旅行の計画や夕食の献立など、日常の些細な悩みにいつでも応えてくれます。実際の使い方や質問の仕方がまとまっており、AIを使うハードルを下げてくれる一冊です。



### 児童書のリサイクルフェア

不要になった図書の無償配布

時 6月27日(土)

午前9時30分～11時30分

午後0時30分～2時30分

場 市民図書館2階 会議室

※6月12日(金)午前9時30分から同場所で、日時指定整理券を配布。

### 「本の七夕飾り」を飾ります

市民図書館中央カウンター前のパンプーリーを、あなたのおすすめの本を記入した短冊で飾りましょう。

時 7月1日(水)～31日(金)

※7月13日(月)・27日(月)は休館日



詳しくは、市民図書館☎をご覧になるか、市民図書館☎576-8241へ。



## その人らしく

わたしは定年退職を機に、地域のテニスサークルに所属し、初心者ながらも、たくさんの仲間と一緒に楽しい毎日を送っています。その仲間の中に尊敬している人がいます。その人は、手の障がいを感じさせないくらいの巧みなラケットさばきで、何度も強い球を返すのです。そして、なんと先週の市民大会で優勝を果たしたのです。

そのことをうれしく思ったわたしは、翌週のサークルで彼女に「優勝おめでとう！すごいね」と伝えました。彼女は満面の笑みで「ありがとう」と応えるので、わたしは続けて「本当に尊敬するよ。ハンディキャップを乗り越えて優勝するなんて」と。すると彼女は「まだまだこれからだから…」と照れた様子で言うのでした。

帰宅後、彼女に尊敬の気持ちを伝えたとき、笑顔が少し曇ったように見えたことが気になり、夫にそのことを話しました。夫はうなずきながら「伝えたい気持ちは分かるよ。でも、彼女のことを褒めたいのはハンディキャップがあるからなのかな？」と言うので、「だって、人一倍努力していると思うし…」と言うのがやっとでした。

## シリーズ じんけん 人の生き方を考える 570

すると夫は、以前わたしが夫に頼んだテニスサークルのホームページ作成のことを話し出したので、わたしは思い出すように「そうそう、あのときは『年配なのにホームページ作れるなんて』って、サークルのみんなから褒められたんだよね」と言いました。それに対し、夫は「確かにうれしかったけど『年配なのに』って言われると心から喜ばなくて…」と言うのです。夫の言いたいことを考えていると、「褒めたい」という気持ちの中にある決め付け、いや偏見に気付いたのでした。

次のサークルの日に、彼女に思い切って自分が気付いたことを話すと、彼女は「話してくれてありがとう。でも、あなたもぐんぐん上達していてすごいと思うよ。他のみんなもきっと、その人らしく努力しながら楽しんでいるんじゃないかな」と笑顔で話してくれました。その後、二人でラリーをしながら、彼女が言った“その人らしく”という言葉の意味を考え続けたのです。

障がいの有無にかかわらず、誰もがその人らしく、そして互いに認め合いながら、共に生き生きと暮らせる社会をつくるのが大切です。

### 今月は佐伯市!

佐伯市は、大分県の南東部に位置し、豊後水道に面した温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、九州一広大な市域面積を有します。戦後は旧海軍跡地の臨海部に工場や造船所が進出、工業都市としても発展し、県南の拠点都市として栄えてきました。

### さいきの味力

佐伯市は恵まれた漁場を背景に、水産加工が盛んに営まれてきました。伝統の技に現代の技術を組み合わせながらごまだし(郷土料理)や練り製品などを作り続けています。ごまだしとは、ほぐした地元産の焼き魚にたっぷりのすりゴマを加え、醤油やみりんなどで味付けした佐伯市の調味料です。



### 佐伯市からのプレゼント

今回紹介した佐伯市から、特産品を2人にプレゼント！応募は大分市公式LINEから友だち追加をすると表示されるプレゼントメニューよりご応募ください。応募締切：6月15日(月) ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

友だち追加▶



因尾茶ティーバッグ



ブリごまだし

次号では、大分都市広域圏の取り組みのひとつ「えひめ・おおいた交流事業」についてご紹介します！

企画課 ☎585-5242

### 編集担当より

今号の表紙は空き家特集にちなんで、空き家を改装した新田さんにお話を伺いました。思い出の詰まった家を再度利用できるのはすてきなことだと感じました。市では改修や活用、除却などさまざまな空き家対策のための制度を用意しています。空き家を負の財産にしないためにも、何ができるのか考えていきたいですね。



空き家・空き地の利用を希望する人に物件などの情報を提供するシステムは？

### 「大分市住み替え情報」

※ヒントは、この市報の中にあります。



正解者の中から抽選で、市ブランド認証加工品「Oita Birth」から大分特産品を使用した調味料セットを3人にプレゼント！

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



みんなのニラ醤油



大葉こしょうマヨネーズ風味

### ＜応募方法＞

スマホ 右の二次元コードから応募してください。

はがき はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、6月15日(月)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



### 5月号 「市報クイズ」の答え

9年10月供用開始を目指す「みどりの森環境センター」新しい環境センターの名称は？